



発行 東京片貝会  
責任者 佐藤祐一 事務局 吉原勉  
〒270-1167 我孫子市台田3-175  
電話 04-7184-4323

### みんなで楽しく

## 新年会御案内

会員皆様の健康と益々の発展を祈念しまして、新年会を開催致します。  
故郷片貝は、昨年のおまつりに沢山の復興祈願や励ましの奉納があり、力強く歩んでいます。  
新年に当たり、皆様と心新たにしたいと存じます。  
お友達を誘い合い、どうぞ多数ご参加下さいませ  
ようご案内申し上げます。

記

日時 平成18年1月29日(日)午後一時(正午より受付)  
会場 かんぽヘルスプラザ東京  
東京都豊島区東池袋4-7-7  
会費 七、〇〇〇円  
お願い 返信は1月17日(火)までをお願いします。

### 会の動き

#### 理事会

於：かんぽヘルスプラザ 5/22  
黒崎副会長以下16名  
・会報発送 約七百五十部  
・総会打ち合わせ

#### 第46回総会

6/26  
於：かんぽヘルスプラザ  
出席者92名  
会員71名、片貝来賓21名  
(二面参照下さい)

#### 片貝祭厄年の会へ寄贈

9/9  
片貝祭厄年(20才、33才、  
42才、50才、60才、伝統芸  
能保存会) 清酒二本ずつ  
寄贈

#### 片貝まつり奉納

9/10  
黒崎副会長出席  
相撲場敷敷で会員観覧

「例年枚敷二枚を申し込  
み祭り場での会員の懇親  
の場としています。」

### 震災復興祈念

片貝コンサート協賛 9/24  
コンサートプログラムに  
協賛広告を掲載

#### 母校を励ます会教育講演会

10/14  
於：片貝中学校  
出席者 佐藤会長  
本田励ます会会長

諸我理事 藤塚 悟氏  
講演 内藤富美子氏  
(三面参照下さい)

#### 黒崎孝造さん葬儀

10/27  
諸我理事 出席  
「長年、会の会計事務を担  
当10/25逝去86才」  
(二面参照下さい)

#### 理事会

10/30  
於：かんぽヘルスプラザ  
佐藤会長以下12名  
・励ます会講演会報告  
・新年会打ち合わせ

#### 東京片貝会 会費

会費は、年二〇〇〇円とさせ  
て頂いております。  
会報と同封されます郵便振  
込用紙、または新年会、総会  
で納入をお願いします。  
母校を励ます会のご支援は、  
三面をご参照下さい。

## 中越大地震 故郷、片貝復興力強く

中越地震から早一年が経過した。  
小千谷市では、十月二十三日に合わせ、さまざまな復興  
祈念行事が行われ、「愛するふるさと再興の決意」の再確認が  
なされた。

片貝は、住宅関係を除けば、ほぼ平常化となった。町民の  
助け合いの教訓を忘れることなく、例年の行事や祈念の催し  
ものなどが力強く行われた。

### 地震で壊れた 宝蔵と鳥居修復

浅原神社は中越地震で、宝  
蔵と鳥居が全壊、灯籠八基が  
倒れて部分的に破損した。

浅原神社管理委員会は氏  
子、町民への寄進、その他  
事業所などへ特別寄付を呼  
びかけ浄財を集め、約一千  
四百万円をかけて、九月七  
日竣工式を挙行了。宝蔵  
は木造神明造りで新築、屋  
根は銅板葺き。鳥居は約百  
九十万円で新築、八基の灯  
籠も修復した。



寄進された会員の方もお  
られる  
と思  
います  
が、  
立派に  
修復さ  
れまし  
た。

### 夜空に輝け、復興の花 「花火は人生そのものだ」

片貝まつりは、奉納花火を  
メインに各種伝統行事などが  
賑やかに繰り広げられた。  
伝統の祭り屋台が45年ぶり  
に復活、引き回しが行われた。  
九日は天候に恵まれた花火日  
和、十日は生憎の雨であった  
が、20万人の人出で賑わった。  
両日の四尺玉は、夜空にくっ  
きりと大輪の華を咲かせた。  
十日の四尺玉  
は、町民が「祝  
成人」として、  
人数も減少した  
若者達への支援  
と激励を込めて  
打ち上げられた。  
今年、地区  
外からの「復興  
祈念」や「激励」  
の花火が多くみ  
られた。  
祭りに参加された俳優江口  
洋介のドキュメンタリー番組  
が、関東地方10/22、新潟  
10/29に放映された。「涙を  
流して見た」などと大きな反  
響が片貝に寄せられている。  
皆さんご覧になりましたか。  
「江口洋介が追い続けた一年  
中越地震の町に咲いた超特大花火」



9/9 四尺玉

### 長岡交響楽団 復興祈念演奏会

長岡交響楽団に、片貝中学  
校吹奏楽部とOBも加わり総  
勢百名以上の、復興祈念コ  
ンサートが、九月二十四日片  
貝中学校体育館で開催され  
た。約七百名が聞き入り、大  
盛況であった。  
東京片貝会は、コンサート  
プログラムに協賛広告を掲載  
し、復興を祈念した。

# 第46回東京片貝会総会

復興中の片貝から  
平成17年6月26日  
かんぼヘルスプラザ東京

第46回定期総会は、新役員による初めての総会で、六月二十六日、会員71名、片貝からご多忙のところ、市長を始め21名の参加を頂き盛大に開催された。

総会は、総合司会の芝強氏(38)、内藤富美子氏(43)の挨拶の後、開会の辞を黒崎勝副会長(28)が、中越地震の復興の願いを込めた力強い言葉で始まった。

佐藤祐一会長(27)は、「ご来賓には、復興中のご多忙の中を出席に感謝。片貝会創立50周年の準備を始める。会員の出席は、一番若い人で44才、更に若い人の参加を目指し、情報としてH・P、会報の送付などを進めている。今後共、宜しく」と挨拶された。続いて会計報告が、諸我時夫会計(32)からなされ、木下伸監査(29)から、監査報告があり承認された。母校を励ます



会本田秀幸会長(37)から、片貝小杉山校長、片貝中内山教頭へ各々十数万円の図書購入費を贈呈した。お二人よりお礼の言葉があり、杉山校長は「図書と中越地震の義援金及び会長自ら、激励にお出で頂き感謝しています。学校は怪我人も無く、ダメージも少なく、二週間の臨時休校をしたが、その後順調に過ごしている。全校25名、全学年二学級は、この先少子化のためもう無いだろうと思われる。」内藤教頭は「四月から片中へ赴任した。図書費と震災の義援金に感謝しています。励ます。す会の図書は、金の丸いラベルを付けて活用。現在17名で、スポーツ、勉強に頑張っている。」と述べられた。



は元気で頑張っているとのことと、会場内にホッとした空気が流れた。(ご挨拶の要旨は、別欄に記載)

乾杯の音頭は、阿部前会長と、最年長者の90才の山口ヨシさんと、88才の浅田鉄二さんの御三人で、元気良く、とって頂き、懇親会に入った。

盛沢山のご馳走とアルコールで、喉を潤し、片貝弁も高らかに聞こえる中、片貝芸能保存会のシヤギリが演奏され、リクエストもあり故郷の音に聞き入った。ノド自慢の会員のカラオケの後、全員で「あの上野駅」を合唱し、更に「片貝小学校校歌」懐かしい「片貝健児の歌」と続き、最後に恒例の「キヤリ」を高くかに歌い、感激のうちに絆を確かめあった。

万歳三唱を、吉井陽氏の音頭で行われ、閉会の辞は、安達弘之副会長(30)が、会を長く続ける決意と次回で会えることを楽しみにと締められ、楽しい会はお開きとなった。

## ご来賓挨拶(要旨)

関 小千谷市長

東京片貝会は、長い間続いており、このような会は小千谷市の中でも片貝だけであり、継続は力です。また会報は、片貝の事を知る事ができありがたい。

震災では、ご支援に感謝します。復興で努力しています。が、吉原議長共々、寝ずで働きました。現在、小千谷市では870所帯が、仮設住宅に入り約千所帯が家の無い状態で。市民は元気でありますが、二、三年で、目処を付けたいと考えており、毎週東京に来ています。杉並区議会での、挨拶の時は東京片貝会からも、駆け付けて頂き感謝しています。

震災では、新たな絆もできました。天災を受け止めて、先人に学び、作り直す元気で進めたい。

素晴らしい50周年を迎えられるよう祈念します。

川上協議会会長

震災では、故郷へ浄財を頂き御礼を申し上げます。仲使山の朝陽館の先生方の莫誌の修復に使用させて頂きました。お帰りの時は、ご覧下さい。

片貝は被害は少なかったのですが、東大の調査では、片貝断層は動いていない結果ですが、いつ動くか心配です。ごく最近も、隣の小国が震源地で震度3程度の揺れがありました。

今回の震災の体験で、大人になって上手く対応したい。例年ですと、チマキも終わり、少しノンビリする所です

が、地震と大雪で、慌ただしく過ごしていますが元気で頑張ります。

## 総会出席者氏名 (敬称略)

「昭和2」10 山口ヨシ、浅田鉄二、黒崎孝造代理、黒崎雅仁「昭和11」20 黒崎音吉、佐藤ヨシ、太刀川善蔵、阿部源一、浅田栄三、石井ユリ、上田益美、江澤キヨ、気田登美、小林重男、小宮武夫、小宮幸雄、佐藤昭六、中島ヨシ、西山和子、山口光雄、吉原俊六

「昭和21」30 安達和三、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、高野 賢、浅田義男、大塚順一、豊島文枝、小野塚茂、長岡利夫、小嶋ミツ子、佐藤祐一、藤塚浩治、松岡規子、吉原勉、吉原靖子、相内テル、大塚徳郎、奥瀬洋子、黒崎 勝、吉原 宏、木下 伸、吉井 均、安達弘之、神林靖夫

「昭和31」49 大塚国夫、大塚浩一、小野塚清、小宮善興、芝

## 黒崎孝造さん御逝去

阿部 修次

長年東京片貝会の会計事務(昭和49年から10年間)として会の継続に心血を注がれた黒崎孝造さん(6)が1月、十五日御逝去されました。黒崎さんから印刷技術の御指導を受けた人々も多く各地で活躍して居ります。

満願、諸我時夫、吉井信三、安達 弘、井上知子、神林省三、高波国夫、横山守男、鈴木英子、本田秀幸、松井京子、小野塚和夫、芝 強、本田利美、佐藤正志、相崎俊夫、安達 徹、栗原知子、内藤富美子、吉井 宏、藤塚哲也

## ご来賓出席者名 (敬称略)

関 広一、川上東陽、吉原正幸、安達 稔、吉井 陽、大矢幹雄、浅田正平、安達 隆、佐藤正敏、市川英雄、吉原正勝、内山博之、杉山淳一、名塚孝一、山口敏朗、溝手勝治、岡村和雄、相崎 夫、安達 学、山口雅仁、黒崎浩之

## ご祝儀 寄付金者名・御礼 (敬称略)

関 広一、川上東陽、吉原正幸、安達 稔、吉井 陽、大矢幹雄、浅田正平、安達 隆、吉原正勝、内山博之、杉山淳一、名塚孝一、友田明石、伝統芸能保存会、阿部修次

また、東京片貝会の役職を退かれてからも都の印刷工業山手支部の会計監査の要職をお務めになりました。

物静かで誠実な黒崎さんの人間性は私達後輩の憧れでもありました。

謹んで生前の感謝と共に心から御冥福をお祈り致します。(会堂)

第23回 母校を励ます会講演会

【皆さんの夢は・・・】

自分の可能性を一緒に考えてみよう。】

内藤富美子氏 (昭和43年卒 つくし会)  
平成十七年十月十四日 片貝中学校にて

母校を励ます会の活動の環として、片貝小(高学年)、中学校の生徒さんに、教育講演会を開催している。

今回は、婦人自衛官、専業主婦から幼稚園の先生を経てボランティアで活躍されている内藤富美子さんでした。

講演は、学校時代からの経験を踏まえた人生の教訓を、児童、生徒に解りやすく語って頂きました。

\*「しっかりと見て、いっぱい話をし、しっかりと聞きましよう。」(日光の三匹のサルとは逆に)

\*夢を持ち「できない」を「できる」に、見方、考え方を変えましよう。

\*不安には、自分の力を信じ努力し、諦めないで夢をかなえよう。

教育講演会

「皆さんの夢は・・・」

講師 内藤富美子先生



\*不安はチャンスと、体行動を起こしてみよう。

\*失敗はつきもの、一寸頑張ってみよう。

\*「がんばれ」と言わないで「がんばるんだよ」と言いましよう。

\*夢に向かい、今しかできない勉強ができる幸せを感じましよう。

最後に、楽しく生きるには一つ一つのできごとを、プラスのエネルギーへ変え「プラス思考」で、夢へのチャレンジを目指し、肩の力を抜いて怠けないで、楽しい思い出を作りましよう。と結ばれた。

生徒さんから「今、叶えない夢は」「なぜ先生にならないかったか」「結婚退職で自衛官を辞めた後悔は」などの質問があり、丁寧に答えられた。渡辺校長先生から、お礼と講演についてのお話があり、生徒代表から、講演者へ花束の贈呈があった。

生徒さん百八十八名を始め沢山のご来賓、町民の皆さんのご出席を頂きました。

講演会感想文を頂いて

講演会が終わると、いつも感想文を頂きます。今回も、小学六年生から21通、中学生から10通が届きました。

講演会は、これから羽ばたこうとする若い人達へ少しでも役に立つようなメッセージを送りたいと続けていますが、一生懸命聞いて、真っ直ぐな気持ちで感想文を書いて頂き読む私達へも力を与えて貰います。

今回のテーマは「皆さんの夢は・・・」ですが、感想文は率直に感じたことを、自分の経験を基に書かれています。小学生と中学生では、見方、考え方が大分変化(成長)しており、本当に重要な世代であることを知らせてくれます。具体的な夢は、小学生では「科学者、幼稚園の先生、バスケット、サッカー選手」などですが、中学生は「保育士、介護士、美容師、生物関係、音楽関係」とかなり現実的な夢となってくるようです。

また、講演の感想では、小学生は「夢を大事にして、諦めないで頑張る」が多く、中学生は「後悔しないために、自分の可能性を信じ頑張りたい、自分に合う夢を探したい」などの感想でした。

片貝の子供達が夢を持って、目標が叶えられることを願っています。

出版物紹介

佐藤祐一著(神奈川県大学教授)

「ある工学部応用化学科の風景」

本会の佐藤会長執筆のエッセー。大学生活から日常で感じたことまでテーマは幅広い。カナダの大学に滞在時の話や実際の授業や、今の学生の考え方、実験の失敗談、故郷片貝まつりの花火なども紹介されている。(新風舎、365円)



ある工学部応用化学科の風景

藤田徳英著「挫けない！」

表題の「激震・小千谷発」挫けない！新潟県中越大地震体験記」は小千谷新聞記者ならではの取材方法と視点で、暖かさ溢れる眼差しで著している。片貝の人達も沢山登場する。(パル社、575円)

「母校を励ます会基金協力者氏名(敬称略・順不同)」

- 小野塚礼次、木曾忠治、松井正之、佐藤亮一、内海光子、松下利夫、星野イキ、黒崎 正、神林貞後、丸山恭造、新澤須美、松川セイ、安達 実、吉原勉、大平アイ、品田紀美子、大塚浩、本橋栄子、横山守男、大矢とらじ、堀井 潔、折原尚子、黒崎 修、藤塚哲也、三枝則子、山口ヨシ、黒崎孝造、黒崎音吉、浅田英三、氣田登美、小宮武夫、小宮幸雄、佐藤昭六、中島ヨシ、安達和三、阿部修次、神林勝夫、黒崎

片貝の昔話

小宮ヤザンサの話

片貝の沼田に在るヤザンサを、ご存じでしょうか。今回は、25代続いていると言われるヤザンサの伝説的なお話です。

片貝は、古くから、平家の落人が逃れ住んだと言う話が伝わっています。ヤザンサの祖先も、源平時代の落人で片貝の西南側の中原(なかせら)に居住を定め、付近を開墾したと言われ、当時の名字が佐々木と伝えられます。山の中の中原の生活は、何かと不便であり、平地の岡田(現在の沼田)へ転居、またその頃の名字は黒崎に変わっていたとのこと。

江戸時代の中頃、当主の子供が女子ばかりで、長女が小宮仁左衛門の息子と恋仲になり、養子となるが名字は変えず、黒崎から小宮になったと伝えられる。「やせかまど」の(夏)「番水」に、水の供給地域、時間などを記載する札の管理をしていた小宮仁兵衛なる人が登場するが、関わりがあるのでしょうか。岡田(沼田)付近は、湿地が多く、豪雨の都度水害があり、集落からも離れ、不便のために、茶畑(浄照寺隣)に移転した。

昭和初めの屋敷は、延建坪110坪で、ウツソウとした杉、樺の太木に囲まれており、座敷には陣笠、陣羽織が飾られていた。戦後ももなく、23代弥一郎氏が、沼田に建家を移転され現在に至っている。

21代弥次郎氏は、美術、骨董品の収集が趣味であった。現在はほとんど残されていないが、一木佛御尊像(行基作)が、阿弥陀佛として家宝で残っている。

弥次郎氏は、所有していた「後小松天皇掛軸」を、農家が持つものではないと、弥彦神社へ奉納したと話されている。本掛軸は、現在弥彦神社の宝物殿に展示、公開されている。確認したところ、古い資料は火災で無くし、台帳には明治27年当時の宮司松田秀次郎奉納とされており、正確には不明である。弥彦へお出掛けの際は、ご覧下さい。



# はなまる・はなまる

H17年6月から  
H17年11月まで

## 母校近況

### ■小学校

#### 巨人軍OBが野球伝授

読売ジャイアンツが野球教室が、6/4片貝スポーツ広場で開催され、巨人軍OBの鹿取さん、篠塚さんの指導を、少年野球チームが受けた。真剣な眼差しで聴き入り、楽しい一時に大喜びであった。

#### お年寄りと子供

#### ゲートボールで交流

第22回片貝町老人クラブ・子供交流ゲートボール大会が8/28、六チームが参加して開催された。お互いにカバーしあいがらの戦いで、五之町チームが栄冠に輝いた。

#### 児童科学作品、発表会で活躍

小千谷市主催の児童・生徒科学作品展が9/17開催され、片小からは観察記録の部で五名、植物標本の部で一名、動物標本の部で一名が金賞を受賞し、銀賞にも大勢の児童が入賞した。また、第41回小千谷市児童生徒科学研究発表会では、本田君が優秀賞を、

#### 第17回発明工夫、模型工作展

で最優秀賞を始め、多くの児童が受賞し、日頃の成果を大いに発揮した。

#### おちやラン 走った

おちやラン！RUN！フェ

スタが10/23、約200名が参加し開催され、片小は小学一、二年女子の部で、優勝、準優勝をし、他の部でも多くの子供達が元気に一生懸命走り、良い成績を上げた。

#### 復興祈念植樹

二之町、茶畑子供会は10/23に、片貝小学校グラウンド脇に震災復興を祈念して、桜の木を三本植樹した。終了後は、きのこ汁で懇親会を開き、地震の思い出などを語り、地域で助け合うことを誓った。

#### ■中学校

#### 市内球技大会 片中カンパレ

市内中学校球技大会が、6/8・9開催された。生徒数は少ないながら、全力を挙げて頑張り、良い成績を上げた。

女子バレーボール 優勝  
卓球女子 団体 準優勝

個人 優勝・準優勝

野球 準優勝

バスケットボール 三位

中でも、バレーボールは、

一セットも落とすことなく完全優勝で伝統の力を示した。

#### 復興祈念ロードレース頑張る

第20回田山山ロードレースが、6/12に開催され、中学生3kmの部で、片中の新野君、小杉君が一、二位となり健脚振りを発揮した。

## EVENTS

### 県美術展 洋画県展賞

#### 片貝の小宮さん受賞

第60回新潟県美術展覧会で小宮美由紀さん(21才、町裏が洋画部門で第一席の県展賞を受賞した。美術展へは初出品で、小千谷西高校で美術部、現在美術系大学に在学中で改めて実験的な作品で挑戦し、今回の快挙となった。

#### 畑のおみせ 花母茶 開店

鴻巣の農家有志が六年前から始めた野菜や花の即売所「花母茶」が今年も6/19から開店した。開店イベントとしてフルートアンサンブルによる演奏会が花を添えた。

#### かたかい夏物語

片貝商工振興会主催の、水と光の祭典が8/7町裏の広場で開催された。

特別 特設ステージ

アマチ ユアバンド、

小学校一

鼓笛隊など数多くの団体が出場。飲み物、出店もあり、さらに加盟店の抽選券の抽選会もあり、景品は片貝まつりに奉納の尺、七号、五号、四号、三号の花火で大勢の人達が参



### 加し大盛況であった。

#### 放火？四之町でボヤ

7/31午後九時半過ぎ、四之町の新野さん宅の裏で火が出ているのを発見、消防自動車も駆けつけたが、近所の人達が消し止めた。火の気の多い場所であらうと思われる。

#### J Aソフトバレー大会

第6回J Aソフトバレー大会が8/7片貝中学校に25チーム、応援含め500人が参加し開催され、男子：町裏、女子：寺町チームが優勝した。

#### 懐かしい盆踊り大会

恒例の盆踊り大会が8/15、16の両日、浅原神社の境内で行われた。チーム対抗盆踊り大会、仮装大会が繰り広げられたが、踊り手は以前に比べ少なくなっており、かつての賑わいが望まれている。

#### 片中同窓会新体制発足

片中同窓会では、これまで3期(六年間)会長を務められた浅田正平さん(つくみさん)が勇退され、後任に安達隆副会長(にじさん)が新会長に選出された。浅田さんは、会報の発刊、役員の見直し、会費の納入法などの機構改革などに尽力された。東京片貝会も大変お世話になりました。

#### 片貝祭り記念切手とパンフ

片貝祭り切手シートが片貝商工会で発売された。四尺玉

### を始めとする

#### 図案五種類で

八十円切手を二枚ずつ計十枚。また案内パンフレット「片貝の絵図と特産品」を三万部制作、片貝までの地図、祭り風景写真、花火のあゆみなどが載せてあり要所くで配布された。

#### 片貝お盆野球

片貝野球連盟の第50回お盆町内対抗野球大会が、8/16片貝スポーツ広場で開催され、片貝中学校チームが優勝した。また、第1回片貝医院杯野球大会が8/28開催され、チームレッドが優勝した。

#### 地津恒例ジャンボかぼちゃ

地津町内会は、恒例のジャンボかぼちゃ大会を県道沿いで開催。今年の日照りと大雨の両方があったが、総合優勝は山田貴弘さんの97キロであった。美形、変形、特別などのかぼちゃへも賞が贈られた。

#### 敬老会 片貝長老104才

片貝地区の敬老会が10/2、小学校南運動場で開催された。当日は雨の中を150余名の方々が出席され、米賣の

方々のお祝いの言葉、演芸会と楽しい一日を過ごした。今年の対象者は698名で、最高年齢の男性は大矢健三郎さん96才、女性佐藤益美さん104才で、小千谷市内のトップは女性で107才(県内5番目)。

#### 戊辰戦争戦死者 片貝墓参

北越戊辰戦争で、鴻巣で戦死した尾州藩兵士(岐阜県)の墓が浄照寺の墓地にあり、この子孫の方々が、10/30墓参りをされた。一行の墓参りは、平成元年以来のこと、

「こんなに遠くまで徒歩でやってきて命を落としたと思うと哀れに思う」と語っていた。



#### あとがき

お祭りにシャギリ大会を拝聴した。道中のシャギリと違い格調高い曲目を、本当に一生懸命演奏しており感動しました。若い頃出張先のドイツで30人位の前でシャギリの笛を吹いたことを思い出しました。(小宮)